



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 加藤製作所  
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 小西 二郎

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	26,674	36.3	1,522		1,126		1,310	
2020年3月期第2四半期	41,889	0.9	686	73.5	432	85.9	51	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,237百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 1,190百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	111.85	
2020年3月期第2四半期	4.37	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	117,903	54,139	45.1
2020年3月期	125,393	55,569	43.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,193百万円 2020年3月期 54,556百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	23.0	2,600		2,500		2,700		230.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	11,743,587 株	2020年3月期	11,743,587 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	26,069 株	2020年3月期	26,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	11,717,545 株	2020年3月期2Q	11,717,679 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による休業要請や外出自粛などにより経済活動が縮小傾向にある中で、個人消費も低迷しており、厳しい状況が続いております。海外は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、各国で出入国規制や外出規制などを行い、人と物の移動が制限され経済活動に影響し、海外経済は先行き不透明感が続いております。

このような状況下、当社グループは、従業員及び関係者の健康と安全を守る為、時差通勤や在宅勤務などを取り入れ、新型コロナウイルス感染症の予防対策をしております。また、生産調整や一時帰休などを実施し在庫調整するとともに、経費削減を行っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は266億7千4百万円(前年同期比63.7%)となり前年同期を大幅に下回りました。損益につきましては、営業損失15億2千2百万円(前年同期は営業利益6億8千6百万円)、経常損失11億2千6百万円(前年同期は経常利益4億3千2百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は13億1千万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5千1百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① 日本

国内向け建設用クレーンは、建設工事の大幅な減少は見られないものの新型コロナウイルス感染症の影響で海外向けの中古車市場の動きが停滞し、新車の買い替え時期が先延ばしとなり需要は減少しました。海外向けの建設用クレーンは、新型コロナウイルス感染症の影響でインフラ投資に減少が見られアジア地域をはじめ各地域で需要は減少しました。油圧ショベル等は、新型コロナウイルス感染症の影響により建設用クレーンと同様に買い替え時期が先延ばしとなり需要は減少しました。

日本の売上高は236億6千4百万円(前年同期比63.8%)となり、セグメント損失は14億5千8百万円(前年同期はセグメント損失6千6百万円)となりました。

② 中国

中国の油圧ショベル等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑えられたとして、いち早く経済活動を再開しましたが、現地メーカーによる販売価格の引き下げ攻勢に苦戦を強いられ売上高は大幅に減少しました。

中国の売上高は31億3千7百万円(前年同期比64.7%)となり、セグメント利益は3億6千7百万円(前年同期比44.3%)となりました。

③ その他

新型コロナウイルス感染症の影響で欧州を中心に営業活動が制限され売上高は大幅に減少しました。

その他の売上高は11億4千1百万円(前年同期比51.2%)となり、セグメント損失は3億7千7百万円(前年同期はセグメント損失3億7百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内は、新型コロナウイルス感染症の影響で海外向けの中古車市場の動きが停滞し、新車の買い替え時期が先延ばしとなり需要は減少しました。国内建設用クレーンの売上高は141億9千2百万円(前年同期比59.2%)となりました。海外は、台湾や香港への出荷は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により各地域で需要は減少しました。海外建設用クレーンの売上高は17億7千6百万円(前年同期比63.4%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は159億6千9百万円(前年同期比59.6%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内は、新型コロナウイルス感染症の影響により建設用クレーンと同様に買い替え時期が先延ばしとなり需要は減少しました。国内油圧ショベル等の売上高は50億2千4百万円(前年同期比77.9%)となりました。海外は、中国が新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑えられたとして、いち早く経済活動を再開し需要が高まりましたが、現地メーカーによる販売価格の引き下げ攻勢に苦戦を強いられたこと、及び、新型コロナウイルス感染症の影響で欧州を中心に営業活動が制限されたことにより売上高は大幅に減少しました。海外油圧ショベル等の売上高は52億7千3百万円(前年同期比64.0%)となりました。よって、油圧ショベル等の売上高は102億9千8百万円(前年同期比70.1%)となりました。

③ その他

その他の売上高は4億6百万円(前年同期比97.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の1,253億9千3百万円に比べ74億9千万円減少し、1,179億3百万円となりました。これは主として、たな卸資産の増加12億6千6百万円と受取手形及び売掛金の減少91億6千7百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末の698億2千4百万円に比べ60億6千万円減少し、637億6千3百万円となりました。これは主として、電子記録債務の減少44億9千9百万円、支払手形及び買掛金の減少24億9百万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の555億6千9百万円に比べ14億2千9百万円減少し、541億3千9百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少14億8千6百万円、為替換算調整勘定の増加9千1百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は108億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億6百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、2億円の増加となりました。その主な要因は、売上債権の減少92億3千5百万円及び減価償却費10億2千4百万円の増加要因、たな卸資産の増加15億1千3百万円及び仕入債務の減少68億5千6百万円の減少要因によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は3億5千万円の減少)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、19億2千5百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出17億6千3百万円及び定期預金の預入による支出1億5千5百万円によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は43億8千9百万円の減少)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、14億8千9百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入28億円及び短期借入金の増加22億2千8百万円の増加要因と長期借入金の返済による支出31億6千3百万円、配当金の支払額1億7千6百万円及び社債の償還による支出2億6千2百万円の減少要因によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は33億4百万円の増加)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響を踏まえ、徐々に需要も回復するものと見込んでおりますが、売上高及び各利益において、前年同期を下回るものと見込んでおり、下記のとおりといたします。

【通期】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
連結業績予想	60,000 (77.0%)	△2,600 (－%)	△2,500 (－%)	△2,700 (－%)

( )内は2020年3月期比

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,101	11,050
受取手形及び売掛金	39,284	30,116
たな卸資産	45,291	46,558
その他	1,790	1,405
貸倒引当金	△4,061	△3,719
流動資産合計	93,406	85,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,213	13,668
機械装置及び運搬具（純額）	3,654	3,512
土地	6,798	6,758
建設仮勘定	1,238	619
その他（純額）	1,237	1,213
有形固定資産合計	25,142	25,772
無形固定資産	467	440
投資その他の資産		
投資有価証券	2,349	2,400
破産更生債権等	2,491	2,490
繰延税金資産	3,023	2,876
その他	969	966
貸倒引当金	△2,456	△2,454
投資その他の資産合計	6,376	6,278
固定資産合計	31,987	32,491
資産合計	125,393	117,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,201	4,792
電子記録債務	13,902	9,402
短期借入金	9,364	11,540
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	8,353	7,794
未払法人税等	179	70
賞与引当金	567	453
製品保証引当金	1,125	1,141
その他	2,586	2,188
流動負債合計	43,806	37,908
固定負債		
社債	4,136	3,874
長期借入金	20,622	20,808
退職給付に係る負債	697	637
その他	562	534
固定負債合計	26,018	25,854
負債合計	69,824	63,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	43,539	42,053
自己株式	△38	△38
株主資本合計	53,546	52,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	19
為替換算調整勘定	1,126	1,218
退職給付に係る調整累計額	△118	△104
その他の包括利益累計額合計	1,010	1,133
非支配株主持分	1,012	946
純資産合計	55,569	54,139
負債純資産合計	125,393	117,903



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	41,889	26,674
売上原価	36,416	24,035
売上総利益	5,473	2,638
販売費及び一般管理費	4,786	4,161
営業利益又は営業損失(△)	686	△1,522
営業外収益		
受取利息	7	34
割賦販売受取利息	77	41
受取配当金	44	11
持分法による投資利益	7	31
受取賃貸料	—	38
貸倒引当金戻入額	10	396
その他	134	192
営業外収益合計	281	746
営業外費用		
賃貸費用	—	191
支払利息	111	109
為替差損	336	13
その他	87	35
営業外費用合計	536	349
経常利益又は経常損失(△)	432	△1,126
特別利益		
固定資産売却益	229	108
特別利益合計	229	108
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	39	—
工場移転費用	483	—
特別損失合計	527	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	135	△1,018
法人税、住民税及び事業税	214	173
法人税等調整額	△63	143
法人税等合計	151	316
四半期純損失(△)	△16	△1,335
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	34	△24
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51	△1,310

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△16	△1,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	15
為替換算調整勘定	△1,042	65
退職給付に係る調整額	△125	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△1,174	97
四半期包括利益	△1,190	△1,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,193	△1,187
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△49

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	135	△1,018
減価償却費	974	1,024
のれん償却額	21	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△290	△392
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	172	△59
受取利息及び受取配当金	△52	△46
受取賃貸料	—	△38
支払利息	111	109
賃貸費用	—	160
為替差損益(△は益)	250	33
持分法による投資損益(△は益)	△7	△31
割賦販売前受利息の増減額(△は減少)	△50	△23
固定資産売却損益(△は益)	△225	△108
固定資産除却損	39	—
工場移転費用	483	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,511	9,235
破産更生債権等の増減額(△は増加)	296	1
たな卸資産の増減額(△は増加)	△958	△1,513
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,378	△6,856
前受金の増減額(△は減少)	△28	△48
前渡金の増減額(△は増加)	△12	22
未払費用の増減額(△は減少)	△233	△46
未収消費税等の増減額(△は増加)	825	449
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4	△39
その他	△68	△294
小計	510	519
利息及び配当金の受取額	52	18
利息の支払額	△108	△126
工場移転費用の支払額	△282	—
法人税等の支払額	△522	△368
法人税等の還付額	—	156
営業活動によるキャッシュ・フロー	△350	200
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資不動産の賃貸による収入	—	3
投資不動産の賃貸による支出	—	△117
有形固定資産の取得による支出	△4,290	△1,763
有形固定資産の売却による収入	261	136
無形固定資産の取得による支出	△102	△23
定期預金の預入による支出	—	△155
関係会社株式の取得による支出	△371	—
その他	113	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,389	△1,925

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,155	2,228
長期借入れによる収入	4,400	2,800
長期借入金の返済による支出	△2,546	△3,163
社債の償還による支出	△190	△262
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△556	△176
非支配株主への配当金の支払額	△38	—
その他	81	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,304	1,489
現金及び現金同等物に係る換算差額	△205	29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,640	△206
現金及び現金同等物の期首残高	14,255	11,101
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	97	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,712	10,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響及び収束時期等につきましては、不確実な要素が多く、現時点において予測することは困難であります。新型コロナウイルス感染症の影響はしばらく続くものの、第2四半期以降、通常の事業活動が再開し始め、その後、徐々に売上高が回復していくものと仮定しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	日本	中国	その他 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	34,827	4,843	2,218	41,889	—	41,889
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,258	7	10	2,276	△2,276	—
計	37,086	4,851	2,228	44,165	△2,276	41,889
セグメント利益又は損失(△)	△66	829	△307	455	231	686

(注) 1 タイ、イタリア、オランダを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去178百万円及びセグメント間未実現利益消去52百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	日本	中国	その他 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	22,517	3,133	1,023	26,674	—	26,674
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,147	4	117	1,269	△1,269	—
計	23,664	3,137	1,141	27,943	△1,269	26,674
セグメント利益又は損失(△)	△1,458	367	△377	△1,468	△54	△1,522

(注) 1 タイ、イタリア、オランダ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去87百万円及びセグメント間未実現利益消去△141百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。